

奈良教育大学附属小学校教員の人事交流について

平素より、本学附属小学校の教育にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

また、このたびの事案に関しご心配をおかけしておりますこと、あらためて心よりお詫び申し上げます。

先月の保護者説明会及び記者会見以降、また先日の人事交流についての一部報道に対して、保護者の皆様はもとより、多くの方々からご意見等を多数いただいております。校長とともにそのすべてを拝読し、回復措置や来年度の教育課程編成を通して全学・全校を挙げ、改善に取り組んでいるところでございます。

人事交流に関わるご意見としては、大規模な異動に対するご心配やご批判と、人事交流の活性化による改善への期待、の両面から寄せられています。学長としましては、両意見を真摯に受け止め、以下の観点から人事交流を実施することといたします。

第1は、本校が築いてきたよさや特色を損ねることなく、児童や保護者の皆様にとってさらによりよい教育が実施できることを第一の目的とすること。

第2は、本校は国立の附属学校として国民の税金によって運営されていることに鑑み、その教育や運営方針は、本校のみに留めることなく「開かれた学校」として、批判も含め多様な人々や他校からの様々な知見を受け入れ、常に改善と検証に努め、発信していく責務があること。その責務を果たすことにより、附属学校の環境や創意工夫ある先導的教育を公立学校教員が実践し、当該教員の質向上や地域の学校への還元に貢献すること。同時に、附属学校への派遣や研究を通して派遣教員の研修等へつなげること。

第3は、その責務を確実に果たしていくため、本校の教員が、本校以外の学校における教育課程や学校運営等に関する理解を深め、教科指導・生徒指導・現代的課題への対応等に係るさらなる能力向上に努め、地域のモデル校として貢献していくこと。

第4は、その上で、本校独自の優れた取組や研究の成果は、教育課程特例制度、授業時数特例校制度、研究開発学校制度を用いて客観的に実証し、地域の教員や本学教員と協働し、今後の全国における教育改善に寄与させたいこと。

以上により、本校児童のためにも「開かれた学校」「開かれた教育課程」「多様性と包括性」を実現させるべく、奈良県内の公立学校及び奈良女子大学附属学校との教員人事交流を実施いたします。

なお、本校からの異動は「出向」として他校等で研鑽を積むことを目的とするもので、今回の事案に係る処分ではありません。籍は本校に残し、原則として3年以内の出向後、本校に復帰します。

また、人事交流の人員規模は、本校の教員全体の年齢・教科等のバランスや回復措置への支援、及び他校等から受け入れる教員数との調整等を考慮して決定いたします。なお、一部報道にあるような「3年間で現在の専任教員がすべて不在になる」異動は行いません。

今後、法令遵守の上に適切な学校運営を進め、さらなる教育の充実に努めて参る所存です。ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年2月29日

奈良教育大学 学長 宮下俊也